

このへ議会だより

Gonohe Assembly News

第31回定例会（平成23年9月定例会）

創刊のことば	2	議員研修会	14
平成23年9月定例会	2	台風15号による被害の現地調査	14
一般質問	5	議会傍聴者アンケート集計表	15
八戸圏域定住自立圏構想とは？	9	議会質問コーナー 議会用語のあれこれ	16
平成22年度決算審査	10	第32回臨時会	16
主な質疑	10	編集後記	16
町の財政状況（22年度決算）	12		

議会広報
平成23年11月
第1号



創刊号

倉石中市から五戸町内を望む



創刊のことば



議長 中里 公志郎

平成二十三年十一月

この度、五戸町議会は広報紙として「このへ議会だより」を発刊することになりました。

わが議会は、「町民のための、町民の政治」を基本理念に常に真剣に討論を重ね皆様のご期待に応えるように努力しております。それでも時には「町は何をやっているのか」「議会はどうしたのか」といったご不満をいただくことがあります。これも、昨今の地方自治行政は刻一刻と複雑化しつつあり、地域住民を取り巻く環境が激動し、長期展望にたつての計画が立て難い状況にあることもあります。

しかしながら、我々議員は、町民から選ばれた代表者

として、常に町民の福祉向上を願いつつ活動しなければならぬものと考えております。

議会に提案された議案は常に良識をもって審議し、議決していきますが、それは取りも直さず町の主権者としての町民から付託された権能を尊重し意思決定している訳です。

したがって、皆様は疑問の真実を知る権利があり、我々議員は自己の責任において、町や議会の実態を報告する義務があります。そして、それらを積み重ねることにより信頼関係をより強固にしてこそ、住みよい地域が創造できるものと確信しています。

この議会広報は、議会活動情報の提供や共有の方策の一つ、町民と議会との交流の場として刊行したものであります。

・発行計画 年四回

・発行時期 定例会二か月後

しかしながら、はじめての刊行であり編集に不慣れな点

もありますが、今後、研鑽を積み町民のご期待に添えるようより充実した内容に改めたいと考えております。

町民の皆様におかれましては格別なるご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。創刊のことばといたします。

平成23年

9月定例会

倉石3小学校統合

統合先は中市

名称「倉石小学校」

9月定例会は、9月8日から14日までの7日間の会期で開催しました。

町長から報告3件、条例5件、補正予算5件、平成22年度決算2件、人事案件2件、議会から2件が提出され、それぞれ原案のとおり可決、承認しました。

町長提案議案

●町立小学校設置条例の改正

倉石3小学校（石沢、中市、

又重）を統合し、平成25年4月新たに「倉石小学校」を設置、場所は現在の中市小学校校舎施設を利用するため改正。



「倉石小学校」として生まれ変わる中市小学校



「芝生の校庭」石沢小学校



「芝生アート」校庭に巨大なあみだくじ又重小学校

討論

【反対】赤坂 悦子 議員



小規模な学級の良さは、子どもも同志、教師との人間的つながりの深さ、温かみのある教育活動など広く認められている。統合により、学校が遠

くなれば保護者の負担や安全面での問題、地域のコミュニティの崩壊、地域社会の荒廃を招くので、子どもの教育と地域社会を守るため反対する。

【賛成】 柏田 雅俊 議員



統合は地域住民にとっても大事な問題でもありますが、それ以上に子供たちにとってどうあるべきかという視点が優先されるべきであります。

これまで延べ12回の保護者及び地域住民との対話、さらにはアンケート調査の結果を踏まえて3小学校のPTA代表者から出された「児童数の減少により複式学級が増加していく現状の中で、子供たち

により良い教育環境のもとで教育を受けさせてあげるのが保護者の義務ではないかと考えたので、統合を推進していただきたい」との要望書は大変重いものと受け止めるべきで、その思いを支えてやるのが我々議員の責務であると考え、複式を解消して学問のみならず、無限の可能性を秘めている子供たちにより多くの選択肢がある教育環境の実現を強く要望して賛成します。

等に分べん手当を支給するため改正。

●災害弔慰金の支給条例の改正
全員賛成

災害弔慰金の支給対象者を、死亡した者に、死亡した当時において、配偶者、子、父母、孫又は祖父母のいずれもいない場合は、同居又は、生計同一の兄弟姉妹に支給するため改正。

●国民健康保険条例の改正
全員賛成

後期高齢者医療制度が創設されたことにより、国民健康保険に加入する65歳以上の被扶養者の国民健康保険税の算定基礎の一部に減免措置期間が2年であったが、後期高齢者医療制度加入までその期間を延ばすための改正。

●平成23年度一般会計補正予算
全員賛成

旧五戸地区公民館解体へ
一般会計予算2億3909万
円補正増額を可決

●町職員の特殊勤務手当支給
条例の改正
全員賛成
総合病院に勤務する産科医

4381万円
・ 停電時対応情報通信ネットワーク整備工事費
1606万円

2443万円
・ 子宮頸がん等予防接種業務委託料
2443万円

3273万円
・ 庁舎エアコン設置工事
3273万円

これらの財源は、地方交付税、繰入金及び諸収入などを充てるものです。



商工会、観光協会事務所のある旧五戸地区公民館

改修業務委託料ほか
介護保険特別会計
7万1千円増額

・ 地域包括支援センター運営協議会委員報酬ほか

簡易水道事業特別会計
202万円増額

・ 施設修繕料ほか
五戸町病院事業会計
9851万6千円増額

・ 一般会計からの繰入金ほか

一般会計からの繰入金とは
五戸総合病院は公営企業会計（独立採算性）が適用されているが、町立の病院であるため公益性の観点から、一般会計が公営企業会計の経費の一部を負担するものである。

●平成22年度公営企業決算に基づく経営の資金不足比率
報告

公営企業として病院事業会計、下水道事業会計、農業集落排水処理施設事業会計、簡易水道事業会計が対象である。資金不足がないため経営の資金不足比率が算定されない。

●平成22年度決算に基づく財政の健全化判断比率 報告

	①実質赤字比率 一般会計の赤字額が標準財政規模に占める割合 %	②連結実質赤字比率 全会計の実質赤字額が標準財政規模に占める割合 %	③実質公債比率 全会計の償還額が標準財政規模に占める割合 %	④将来負担比率 将来一般会計から負担されると想定される金額が標準財政規模に占める割合
五戸町	—	—	21.7	108.1

早期健全化基準	14.16以上	19.16以上	25以上	350以上
財政再生基準	20以上	35以上	35以上	

健全化判断比率とは、地方公共団体の財政の健全化に関する法律（地方財政健全化法）が成立し、平成19年度決算から財政状況を判断する健全化判断比率を算定して町民の皆さんに公表するものです。この法律は財政悪化が進む地方公共団体の財政破たんを未然に防ぐために毎年財政状況をチェックし、早期に財政の健全化に取り組めるようにしたものです。

- ① 実質赤字比率：主に一般会計でどれくらいの赤字があるか。
- ② 連結実質赤字比率：町全体（一般会計、特別会計）でどれくらいの赤字があるか。
- ③ 実質公債比率：借金の返済にどれくらい支払っているか。
- ④ 将来負担比率：将来どれくらいの負担が見込まれるか。

五戸町は22年度決算において健全な財政状況にあります。



扇田字家ノ表44番地1
主な職歴
町消防団分団長
民生委員
町固定資産評価審査委員



◎石ヶ森 幹雄氏
●固定資産評価審査委員会委員の選任 同意

上市川字上市川30番地
主な職歴
天満下土地改良区理事
人権擁護委員



◎原 博氏
●人権擁護委員の候補者の推薦 同意

人事

議会提出議案

9月定例会から
議会広報発行！

●このへ議会だよりの発行規程 全員賛成

●このへ議会だより編集委員会7人を選任 全員賛成
議会の活動状況や議会に関する諸般の事項などを町民に周知しながら、町民の議会に対する理解を深めてもらうため広報を発行し、編集委員会を設置や発行に必要な事項を規定するため制定した。

●五戸町表彰審査委員会3人
を指名 全員賛成
五戸町表彰条例第9条第2項第1号の規定に基づき、議会議員のうちから3人を指名することになっている。

- 高山 浩 司 議員
- 根森 隆 雄 議員
- 鈴木 繁 盛 議員
- 尾形 裕 之 議員
- 大沢 義 博 議員
- 大沢 義 之 議員
- 柏田 雅 俊 議員
- 尾形 裕 之 議員
- 高山 浩 司 議員
- 大沢 義 之 議員

一般質問

松山泰治議員



夢と希望が 持てる事業は

質問

町長は合併以来、行財政改革なくして町の発展がないと財政の健全化を推進してきたが、合併10年で合併特例債が終了し、地方交付税も減少すると思われるが、その後の財政基盤と町民に夢と希望が持てる事業計画があるか。

三浦町長答弁

22年度決算において財政調整基金と減債基金を合わせ4億3400万円の積み立てが出来た。また、実質公債比率も年々改善の方向にある。し

かし、東日本大震災による国の財政難から今後の予測がつかず楽観できる状況にない。

① 定住自立圏構想の推進

事業については、八戸市を中心とする定住自立圏構想の中で進めている事業があり、本年度は広域路線バス上限運賃化実験がある。

今後も一つの町だけで事業効果を上げることは財政的にも無理があるので、定住自立圏構想の中で取り組んでいきたい。

② スポーツの振興

サッカー場の人工芝生化に着手しているが、サッカー場に限りずひばり野公園の施設は随時改修を行っている。また、小渡平公園は全国有数のグラウンド・ゴルフの競技場を目指し、整備を進めている。さらに、改築される五戸小学校は通常より大きい体育館を建設する予定となっており、完成すれば多くの室内競技が利用できると思う。

このように体育施設を充実させてスポーツのレベルアップを図り、町民の皆様方に感動と元氣と勇気を与えていた

廃校の利活用は

質問

できたいと願っている。

① 五戸小学校の改築にあたり、校地内の木々、植物園、旧プール、駐車場などの整備は。
② 統合後の各小学校の廃校施設及び跡地の利用はどのように考えているか。



五戸小学校の正門

高橋教育長答弁

① 緑地帯、駐車場等の確保は校舎の配置と合わせて具体的な検討を進めている。また、校地内の木々については、歴代PTA会長等の意見を聞きながら、後世に残

人工芝生 サッカー場の 利用計画は

質問

人工芝サッカー場の利用計画と料金は。



完成間近な人工芝生、ひばり野公園サッカー場

していく花木の選定作業をしている。なお、植物園は現在と同様に管理し、旧プールは撤去する方向で考えている。

② 廃校となる施設及び跡地の利活用については、プロジェクトチームを立ち上げ、地域住民の意見を聞きながら検討していく。

高橋教育長答弁

利用計画及び料金設定は検討に入っていないが、現段階では従来どおりの方向で考えている。利用計画は利用申請が出されたものを整理する方向で考えている。

なお、料金設定については、今後人工芝生サッカー場を所有している近隣の市町村、あるいは県における運営、管理方法等も参考に、関係機関と協議しながら決定したい。

赤坂悦子議員



子育て世代の 支援強化を

質問

① 子育て支援の一環として義務教育終了まで医療費の無料化延長の考えはないか。

②少子化対策として出産祝い金の支給の考えはないか。

三浦町長答弁

①県内の一部の町村では中学校卒業までを給付対象としているが、子供の医療費無料化は、青森県乳幼児はつらつ育成事業を利用して、小学校就学前までの乳幼児を対象に給付に要した費用の2分の1が県の補助となるものであるため、年齢制限を中学校卒業まで拡充すると、多額の前算が必要となるため、財政状況を見ながら慎重に検討する。

②町としては出産祝い金の支給を一時的に行うことよりも、町単独で行っている保育料の半額を継続していくとともに、子育ての環境づくりに重点を置き、安心して子供を産み育てることの環境づくり、相談体制の整備を充実させていくことが重要であり、課題だと考えている。なお、今後については、国・県と連携しながら少子化対策の事業を進めていきたい。

結核検診対象年齢の拡大を

質問

結核検診の対象年齢は、現在65歳以上となっているが、40代50代に拡大できないか。もし、町単独で年齢を拡大した場合、どの程度前算が必要になるか。

三浦町長答弁

全国的には市町村独自で検診を実施しているところもあるが、青森県内では単独で15歳から64歳までの働き盛りの世代の結核検診を実施している市町村はまだないので、県内及び近隣市町村の実施状況を見きわめながら検討していく。

子供の医療費の問題、結核検診の問題も、本来国・県が主体的に取り組むべき問題で、市町村に財政的余裕があれば別だが、国・県にもっと真剣に取り組むよう要望したい。

交流センター 倉石温泉を福祉目的で活用を

質問

倉石温泉、ふれあい体験の郷は、合併後指定管理者制度になったが、利用者の減少が続いている。倉石温泉は、本来、地域福祉推進事業を目的としてつくられた施設であり、地域全体を活性化させ、福祉対策事業として利用するために今後指定管理者制度をどのように考え、どのように進めるのか。

三浦町長答弁

倉石温泉の利用者の減少は指定管理者制度を導入したからだけではなく、平成15年の料金値上げや人口統計から見少しているのも関係している。

ふれあい体験の郷は、現在、青森ごのへグリーン・ツーリズム体験として3つのメニューが開催されることが決定しており、今後も施設の利活用を図っていく。

竹原福祉保健課長答弁

倉石温泉については、掘削をふると創生一億円事業で行い、隣の建物は福祉関係の予算で建てており、現在65歳以上の方は百円という低料金を設定している。

交流センターホールは葬祭関係や各種会合にも利用されている。



湯ったり リラクゼーション「倉石温泉」



尾形 裕之 議員



なぜ山車参加料を三社に支払うのか

質問

①五戸まつりは三社大祭ではないのに、なぜ山車参加の各自治会は三社に参加料を払う必要があるのか。

②豊年感謝祭、大名行列、下大町の公衆トイレ等検討が必要ではないか。

③小学校統合後の学校跡地に山車小屋を建て、おまつり広場にしたいと考える自治会があるが、町の考えは。

三浦町長答弁

①文献によると、戦前、三社には格が与えられ、祭祀料は町費から支出していたようだが、現在ではあり得な

いことで、三社への負担金については、各自治会と三社との問題であり、町は関与するものではないと考える。

- ②豊年感謝祭、大名行列は、五戸まつり実行委員会で検討するよう伝える。公衆トイレは観光協会に仮設トイレの設置を要望する。
- ③小学校跡地活用は、地区住民と協議する。



五戸まつり「お還りの大名行列」

ケーブルテレビの 議会放送はいつ

質問

- ①「五戸ちゃんねる」での議

会放送予定はいつか。また、運営実行委員会はつくりたいのか。

二浦町長答弁

- ①議会放送などの映像放送、また、放送運営のあり方など協議中であり、来年度の実施予定。
- ②旧町営住宅は解体予定であり、二重投資防止の観点から旧住宅への引き込みはしない。入居者からはおおむね理解をいただいている。

クレームは どう対応して いるのか

質問

- ①クレーム処理のマニュアルをつくるべきでは。
- ②教育問題では教育委員長が対応すべきでは。

二浦町長答弁

- ①今後庁内統一したマニュアルを作成したい。

小村教育課長答弁

- ②一般的には教育課長あるいは教育長が対応し、大きな問題は教育委員会が処理する。

農地法は 現状に合っていないのでは

質問

- ①現状に合っていないので見直すべきでは。
- ②農地法第4条・第5条も現

二浦町長答弁

- ①平成24年度に基礎調査アンケートを行い、全面的な見直しをしたいと考えているが、期間、費用もかかることから財政運営の方向性を見きわめながら検討していく。

二浦農業委員会会長答弁

- ②農業委員会では申請等があると、現地調査を実施するなど審査して県知事へ進達します。農地に関しては、いつでも相談していただきたい。

五戸町表彰 基準の見直しを

質問

表彰基準の期間に満たなくても高齢の方は表彰してよいのでは。

二浦町長答弁

表彰審議会等で検討する。

五戸総合病院の 経営改善は



地域の基幹病院「五戸総合病院」

質問

具体的な経営改善策は。

二浦町長答弁

平成23年3月に経営改善推進委員会を立ち上げ、入院収益向上を主に、各科別目標を定めた。事務局では経費削減はもとより、診療報酬における新たな施設基準を取得するなど経営健全化に向け努力している。

根森隆雄 議員



節電効果は

質問

病院を除く大型公共施設において、どのような節電がなされ、どの程度の電力消費削減効果があったのか。

三浦町長答弁

庁舎を含めた各公共施設内の執務エリアの照明を半分程度に、使用していないエリアの消灯、昼休み時間の完全消灯などの徹底を図り、節電対策に努めた。

主な公共施設の削減状況 (対前年度比)			
	図書館	公民館	役 場
6月	32.8%減	18.0%減	9.5%減
7月	31.9%減	25.5%減	17.2%減
8月	40.4%減	0.5%増	19.2%減

新エネルギー

導入の考えは

質問

役場の暖房は重油ボイラーを使用しているが、原発停止による火力発電需要の増加で、重油の価格が上がっている。この際、木質ペレットボイラーを採用してはどうか。県内各地での利用実績もあ

り、間伐材の有効利用にもなり、CO₂排出削減にもなる。

三浦町長答弁

木質ペレットボイラーのペレットを燃やした後の灰の処理、ペレットの品質に差がある等課題も少なくない。費用については電気代が増えたケースもあり運転維持管理にかかわる費用削減は予測が難しい。ただ、CO₂排出量が削減されることは明らかである。しかし、庁舎の重油ボイラーは前年度に更新したばかりなので今後の検討課題としたい。

今後の果樹振興策は

質問

当町は果物については、リンゴやイチゴを除き低調と思われる。そこで果物の大生産地である福島県の農家へ五戸で果物を作りませんかと呼びかけてはどうか。既に指導員の形で受け入れている自治体もあり五戸町のレベルアップを図ってはどうか。

三浦町長答弁

地域により気象条件、地形、土壌の種類、生物等の自然立地条件も大きく異なり、それに伴って土地利用方式、農業形態とも地域によってそれぞれ異なっており、福島県の技術が五戸町に適さない点もあると思われるので、現在の態勢をより多くの関係者に理解していただき、研修会に出席いただくよう、町としましては今まで以上に周知を徹底したいと考えている。

議員 富子 鳥谷部



防災計画の見直しは

質問

①東日本大震災の経験と教訓を生かし、町の防災計画は。

②病院の自家発電装置は。

③NPO法人活動は。

三浦町長答弁

①国、県で見直しを進めている防災計画との整合性を図りながら、今後見直し予定。

前田総合病院事務局長答弁

②本年度、無停電電源装置の工事予定がある。

小渡総務課長答弁

③NPO活動については、今の時点で五戸町にはない。自治会単位等での自主防災組織が一番の訓練になると思う。

議員 浩司 高山



バス利用客の

増加対策は

質問

八戸圏域定住自立圏では、この10月1日から2年間「路線バス上限運賃化実証実験」に伴い、八戸市などから五戸町に来るバスの利用客が増えるようにすればバス会社への補助金も減り、町の活性化にもつながると思われるが、バスの利用客が増えるような町活性化のための施策を考えているか。

三浦町長答弁

今回のような広域市町村で一齐に実施するのは、全国でも非常にまれであると言われている。

これまでの路線バスとスクールバス、患者輸送バスを別建てて運行させているものを、さらにわかりやすく利用しやすいバス交通に一元化するため、平成25年4月1日から、バス会社が主体である路線バスとしての運行ではなく、町が運営主体となるコミュニティバスの運行を目指し、現在関係機関と協議を進めている。

スポーツ交流 センター利用 増加対策は

質問

サッカー場の人工芝生化で、ひばり野公園の利用客の増加、合宿や試合等での宿泊客の増加が見込まれる。現在のスポーツ交流センター宿泊施設だけで、宿泊客のニーズに定める事が出来るか。



旧五戸町役場をモチーフにしたひばり野スポーツ交流センター

三浦町長答弁

1回の大会、あるいは合宿等でどれぐらいの宿泊客があるかは、運営してみなければわからない部分である。スポーツ交流センターを利用でき

ない宿泊客が出た場合には、民間の宿泊施設を紹介するなどの対応となる。そのことが地域経済にもプラスになると期待している。

五戸町物産品の アピール方法

質問

ひばり野公園には、各種スポーツ大会で、県内全域や県外からも選手やその家族が五戸町に来ている。このような大会にこそ出店募集を行って、五戸町の物産等をアピールすべきだと思うが、町民運動会以外の大会で出店を促す事が出来ないのか。

三浦町長答弁

各種イベントにおいて出店することは、地場産品のPRや経済効果にもつながるものと思う。町民運動会といったスポーツイベントに限らず、文化イベントなど、主催者の要望により出店者を促すPRをしていく。これらのPRにより一人でも多く、町ホームページ及び「五戸ちゃんね

る」を見る機会が増えるようになれば、町行政に関心を寄せていただく意味においても効果を期待している。



町民運動会の出店（ひばり野公園陸上競技場）



八戸圏域定住自立圏構想とは？

八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町で構成。

地域の誇りを培い、魅力あふれる地域を形成していくためには、八戸市と周辺市町村が、それぞれの個性や魅力を一層磨くとともに、互いに有する機能を有機的に連携させ、広域的に施策を展開していくことが求められています。

事業内容は、医師派遣事業、ドクターカー運行事業、周産期医療整備事業、子育て支援事業、その他産業振興、教

育、環境、ICTインフラの基盤整備、移住促進事業等がある。



平成22年度決算審査

平成22年度の町づくりに予算がどのように使われたか、一般会計、8特別会計、病院事業会計を審査する、全議員の構成による「決算特別委員会」を設置、委員長に大沢義之議員、副委員長に沢田良一議員を互選、9月13、14日の2日間審査しました。活発な質問や提言など町政を質し、14日の本会議にはすべての会計を原案のとおり承認しました。

（委員会では、議員のことを「委員」と呼びます。）

監査委員意見書



中川原美智子
代表監査委員

一般会計・各特別会計

予算の執行は適正に行われている。22年度自主財源は全

体比17・9%と前年度比2・

3ポイント減少、町税収納率

87・6%で前年度比1・1ポ

イント減少、実質公債比率は

21・7%（前年度23・5%）で

改善はされているが、依然、

財政事情が厳しい。一般、特

別会計の収入未済額が多額で

あり、公平な税負担や受益者

負担の原則に基づき、徴収率

の向上と新たな未納金を発生

させないよう最善の努力を望

む。上市川団地は完売に一層

の努力をお願いする。

病院事業会計

22年度は不良債務が発生しないが、これまで以上の健全化に向けた努力が必要である。

病院患者数、健診センター受診者は年々減少しており、患者・受診者確保や増収に向けた取り組み、費用の削減など経営意識を高め、住民から一層信頼される五戸総合病院となることを切望する。

主な質疑

未収金収納対策の状況は

問 若宮委員 保育所入所児保護者負担金の未収金が多額、子ども手当との関連、不動産貸付収入の未収金のその事情は。

答 竹原福祉保健課長 不納欠損（保育所入所児保護者負担金）は平成16年度2件分39万9080円、指定期限内に納付しない場合は国税・地方税滞納処分の例に基づき欠損処分した。子



国営五戸台地土地改良事業山辺沢工区（倉石石沢）

ども手当受給時は納付するようお願いしている。

答 倉橋農林課長 不動産貸付収入未済額は五戸台地などが滞納、その理由は農業収入だけでは生活費に回すだけで土地貸付料を納付できない状況である。

問 不納欠損が今後もでるのか

答 三浦専治郎委員 五戸台地土地改良事業費負担金・滞納繰越分の収入未済額、不納欠損額が多額であり、収納対策は。奨学資金償還金の収入未済額が多額、23年度不納欠損処分がでないのか。

答 倉橋農林課長 五戸台地土地改良事業費負担金の不納欠損額は17年度、8人分を財務規則第70条第1項第3号の規定により、不納欠損処分した。個別訪問などし、収入、財産状況を聴取して督促（内金納付、分割納付）している。滞納理由として農業収入は機材等への投資返済、生活費で

精一杯で負担金までは納付できない状況である。

答 小村教育課長 滞納額は21・22年度比較で71万4500円減額し努力した。納付することなので不納欠損処分は考えていない。

不納欠損（ふのうけっそん）とは、納付金を徴収するときは、誰が、いくら、どのような性格のお金を収める必要があるのか確認した上で徴収額を決定します。この徴収を決定することを「調定（ちようてい）」と言います。

調定を行ったものの何らかの理由で徴収ができず、今後も徴収の見込みが立たないため、徴収を諦めることを「不納欠損処分」と言います。

例えば、債務者が死亡し相続人もいない場合や時効が成立したときなどに不納欠損処分が行われます。

体験の郷申し込み方法は

問 川村委員 ふれあいの体験の郷の管理内容は。利用の申し込み方法は。

答 佐藤企画振興課長 倉石 温泉の管理者に温泉業務の傍ら管理をお願いしている。一般のそば打ち体験等は温泉で受けるほか、役場で受けており、講師はJA八戸女性部をお願いしている。ただ、PR不足があり、利用しやすい方法等を検討してPRしていきたい。



倉石ふれあい体験の郷（ふるさとの味伝承館）

有害駆除に予算的配慮を

問 松坂委員 有害鳥獣捕獲業務委託について、猟友会会員が激減しており、現状では役場からの駆除業務委託が継続できるか心配だ。町も配慮を。

答 三浦町長 猟友会の会合に参加して実態は承知しており実態は理解できる。24年度予算には考慮したい。

ハザードマップの見直しは必要ないか

問 中川原委員 地震防災ハザードマップは東日本大震災後において見直す必要はないか。

答 山部建設課長 ハザードマップは地震で揺れやすい場所を面画化し、避難場所、連絡先、災害時での注意点をまとめたもので各戸



に配布。東日本大震災後でも活用できます。7500部作成して配布している。

患者送迎バス運行の考えは

問 若宮委員 患者を増やすため、病院の努力は原則だが、患者を増やす方策として送迎バスの運行は。

答 三浦町長 総合病院の減少が目立つ。その方策として長期入院患者の受け入れをした場合のシミュレーションし、ドクターに意識を高め、各科の連携も強化し、患者増を図るようお願いした。結果、若干増えつつある。外来患者のために今後は、課題もあるが、患者輸送バス、スクールバス、買い物など包括したコミュニケーションバスを真剣に考える時期に来ている。それら方策



定住自立圏で総合病院のあり方を

問 尾形委員 22年度他会計からの繰入金はいくらか。

答 前田事務局長 平成22年度は一般会計からの繰入金として病院分が7億4109万1千円、健診センターが9億861万8千円、トータルで8億3970万9千円。

を推進する中で五戸総合病院は維持し、その目標に病院、役場が一体となって頑張る。委員（議員）の方々のご理解をお願いしたい。

問 若宮委員 病院の顔は医師、看護師であり、一生懸命頑張ってほしい。今、小学区統合が動き出し、新しい町づくりのスタート。新しいコミュニケーションができる意識でコミュニケーションバスの検討もお願いしたい。



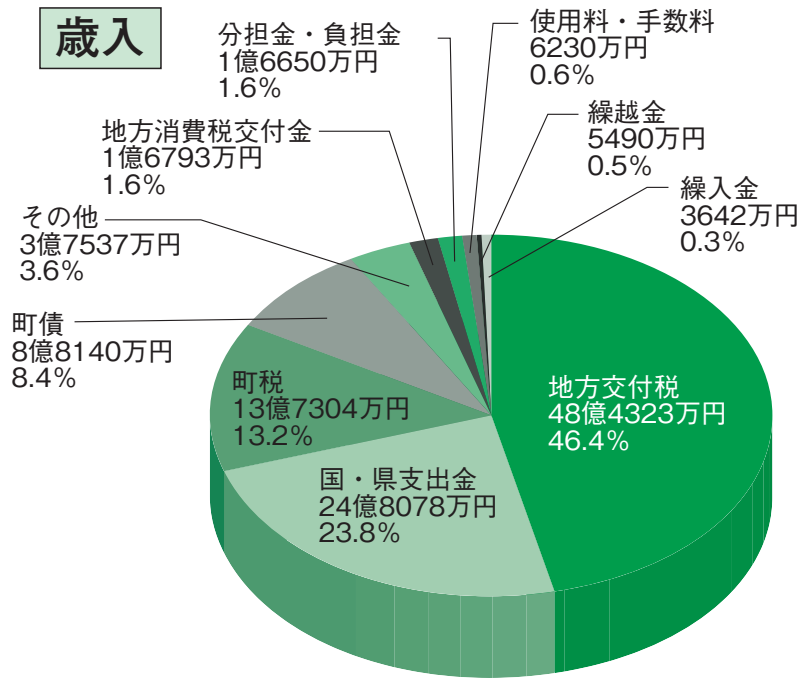
問 尾形委員 繰入金8億3千万円で、赤字分が1億3千万円、普通の会計でいうと9億6千万円が赤字。26年度合併特例がなくなり、五戸町は（23年度現在当初予算88億円）70億円くらいの予算に戻ると思われます。その中で10億円という予算の15%、15%丸々病院にはつかえないのではないか。今から詰めていくことは大切。私の提言は、八戸圏域定住自立圏形成協定・医師派遣事業で内科医師の派遣事業も考え、八戸市民病院中心の八戸圏域定住自立圏の中で五戸総合病院のあり方を模索していただきたい。



町の財政状況（22年度決算）

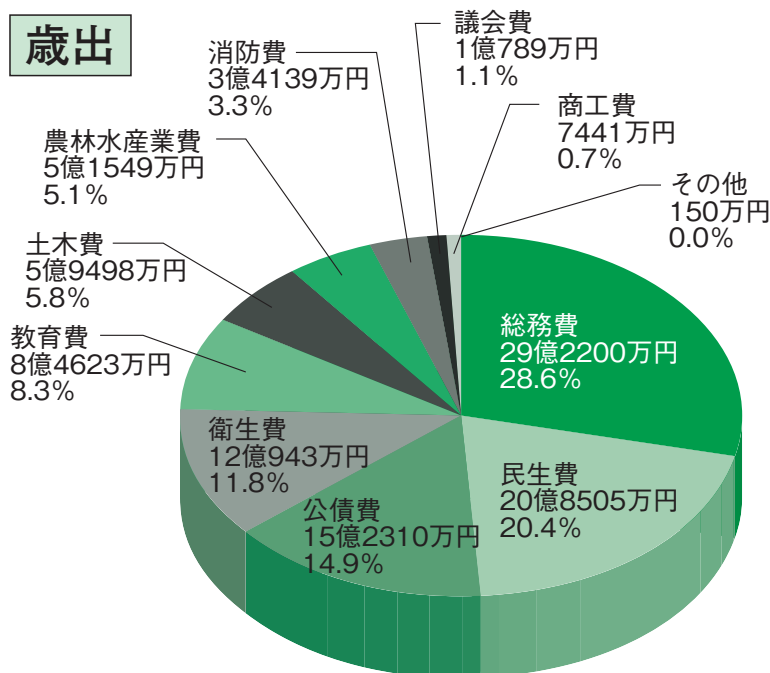
平成22年度の一般会計の決算は、歳入104億4187万円、歳出102億2147万円で、差引2億2040万円の剰余金が生じました。この額から翌年度へ繰越すべき5215万円を差し引いた実質収支額は1億6825万円の黒字となりました。

一般会計歳入 104億4187万円



- ①【地方交付税】町を運営していくうえでの財源不足を補うために、国から交付されたもの
- ②【国・県支出金】福祉、農業や教育などいろいろな分野の町の事業ごとに国や県から支出されたもの
- ③【町税】町民が納めた町民税、固定資産税、軽自動車税やたばこ税などの税収入
- ④【町債】町が事業を行うために、借り入れたお金
- ⑤【地方消費税交付金】町の人口と従業員数により算定され、県から交付されたもの
- ⑥【分担金・負担金】保育所保護者負担金、給食費保護者負担金や農業関係事業負担金などの収入
- ⑦【使用料・手数料】公共施設使用料、町営住宅使用料、各種証明手数料など
- ⑧【繰越金】前年度会計から繰り越されたもの
- ⑨【繰入金】町の基金（貯金）を取り崩したお金

一般会計歳出 102億2147万円



- ①【総務費】交通安全、財産管理、選挙、情報対策、まちづくりなど活性化対策、徴税、統計などための経費
- ②【民生費】障がい者福祉、高齢者福祉などの事業費、保育所など運営のための経費
- ③【公債費】町債（借金）の償還金
- ④【衛生費】インフルエンザ、各種予防接種、妊婦健診、ごみの収集などのための経費
- ⑤【教育費】町内幼稚園、小中学校、公民館、図書館、ひばり野公園などの教育関係施設運営のための経費
- ⑥【土木費】町道、町営住宅などの維持管理のための経費
- ⑦【農林水産業費】米、畑作、畜産、果樹、林業など農林業の振興のための経費
- ⑧【消防費】消防署負担金、非常消防団運営のための経費
- ⑨【議会費】町議会運営のための経費
- ⑩【商工費】商工振興のための経費

町税等の未収金の状況

平成22年度末現在

区 分	未 収 金 額					22・21年度比較	
	22年度	21年度	20年度	19年度	18年度	増減額	増減率%
町 税	1億7532万円	1億6918万円	1億5662万円	1億4076万円	1億2791万円	614万円	3.63%
保育料・児童クラブ負担金	218万円	285万円	400万円	532万円	664万円	△67万円	△23.51%
五戸台地負担金	1800万円	1751万円	1919万円	1245万円	953万円	49万円	2.80%
給 食 費	167万円	159万円	122万円	104万円	75万円	8万円	5.03%
土 地 貸 付 料	294万円	100万円	86万円	56万円	56万円	194万円	194.00%
奨学資金償還金	1138万円	1210万円	1456万円	1230万円	1004万円	△72万円	△5.95%
後期高齢者医療保険料	147万円	66万円	30万円	—	—	81万円	122.73%
国 保 税	2億9305万円	2億9208万円	2億7495万円	2億5901万円	2億4968万円	97万円	0.33%
介護保険料	425万円	413万円	389万円	455万円	418万円	12万円	2.91%
下水道受益者負担金使用料	676万円	599万円	528万円	474万円	392万円	77万円	12.85%
農業集落排水負担金使用料	222万円	192万円	177万円	174万円	164万円	30万円	15.63%
簡易水道使用料	358万円	253万円	184万円	166万円	125万円	105万円	41.50%
合 計	5億2282万円	5億1154万円	4億8448万円	4億4413万円	4億1610万円	1128万円	2.20%

基金(積立金)の状況

平成22年度末現在

財政調整基金	6億4599万円	肉用牛特別導入事業基金	540万円
減債基金	2億2879万円	高齢者等肉用牛特別導入事業基金	591万円
公共施設等整備基金	41万円	肉用牛一貫経営支援基金	1005万円
まちづくり特別事業基金	901万円	国民健康保険特別会計財政調整基金	1425万円
地域福祉基金	90万円	国民健康保険高額療養費貸付基金	452万円
人材育成基金	604万円	介護給付費準備基金	1億1793万円
江渡恭助人材育成基金	144万円	介護従事者処遇改善臨時特例交付金	414万円
土地開発基金	4億193万円	下水道整備基金	2529万円
泉山教育振興基金	56万円	地域振興基金	7億3995万円
木村秀政教育振興基金	182万円	合 計	22億2441万円
		町民1人当たり	11万円

町債(借入金)の状況

平成22年度末現在

一般会計	103億6819万円
下水道事業特別会計	28億4373万円
農業集落排水処理施設事業特別会計	10億9651万円
簡易水道事業特別会計	3億4242万円
五戸町病院事業会計	44億8384万円
合 計	191億3469万円
町民1人当たり	101万円



子育てに最適な環境「上市川団地宅地分譲」

議員研修会

◇議会広報研修会

9月28日青森市にて議会広報研修会が行われ、当議会から新たに選任された「ごのへ議会だより編集委員」が参加しました。

研修会は講演のほか県内町村議会広報のクリニックが行われ、それぞれの広報の評価とアドバイスをあり、わかりやすい指導がありました。

講演

「議会広報・改革の提言」

広報コンサルタント

深沢 徹 氏



【講演内容】

議会広報は議会改革の本丸・広報はありのまま、わかりやすく、住民の目線で。編集はお役所文章から脱皮、専門用語はなるべく日常語に。



◇三戸郡議会議員研修会

10月31日、当町にて郡内議会議員を対象に研修会が開催され、議員全員が参加しました。

講演

「議会改革について」

デーリー東北新聞社記者

工藤 洋平 氏

【講演内容】

県内外における議会改革の取り組み事例を紹介し、進展する地域主権における地方議会の重要性や地方議員の役割と意識改革の必要性に一石投じられ有意義な研修でありました。



台風15号による被害の現地調査

9月22日未明、青森県に最接近した台風15号は、県南地方を中心に大きな被害の爪跡を残した。町と議会は10月4日議員全員協議会を開催、三浦町長から被害の報告を受けた後、被災現地を調査しました。

町長報告の概要

台風15号が直撃する恐れがあり、21日午前11時災害警戒対策本部を設置、自主的避難場所4箇所（町立公民館、3支所）を開設、一人暮らしの高齢者は電話等、一般住民は防災行政無線により周知しました。また、本職と関係課職員は夜通し庁舎待機、ほかの職員は自宅待機して住民対応のために警戒体制を敷きました。消防団各分団は町内を巡回し、一部分団は翌朝まで警戒にあたりました。

被害状況は、幸いにして人的被害や家屋等の倒壊はないが道路、農地及び農業



道路本体が流出された林道糠利沢線(手倉橋荷軽井沢)



法面が崩壊された手倉橋水盛地区の水田

用施設などで被害が発生しました。被害箇所は、臨時議会を招集、必要な予算措置をし、応急復旧を含めて早急に復旧したい。また、農林災害は11月査定を受けしだい予算措置し速やかに復旧に取りかかりたい。

【被害状況】

- ・町道、河川関連 11路線
- ・林道関連 1路線
- ・農業用道路、水路 3箇所
- ・農地(田、畑) 1・28ヶ

被害総額概算 5160万円

9月定例会（9/8～14）議会傍聴者アンケート集計表

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	計
男		1	2	2	6	6	17
女					2	1	3

① 議会の会議を傍聴したことがありますか。

- (1) 傍聴したことがある。 8人
 (1回：5人 5回以下：2人 10回以下：1人)
 (2) 傍聴したことがない。(今回はじめて) 12人

② 特別委員会（予算、決算）の一般公開はどう思いますか。

- (1) 一般公開は続けてほしい。 15人
 (2) あまり意味がないからやめてもいい。 0人
 (3) はじめて傍聴したのでわからない。 4人



③ 五戸町議会についてのご意見など。

◎ソク、実行！

◎一般質問の人数が議員数の3分の1以下でした。こんなに少ないものなのかと思いましたが、その時によって質問者の数は決められているのか？とも考えました。活発な意見交換を期待していただけに少し物足りない内容でした。居眠りしている議員がいたのはがっかりでした。

（議会から：人数制限はありません。）

◎早く町民に公開（五戸ちゃんねる）してほしい。録画放送よりは生放送の方が透明性があると思います。

◎はじめて議会に足を運ぶ機会になりましたが、思った以上に充実しているように思いました。そんな中で、地域経済の活性化についてもっと多くの質問、具体性をもった中身が必要であろうと思う。特に農業従事者の高齢化、人口減少に伴う地域の活力がなくなっていることにもう少し焦点をあてても良いのではないかと。

◎余り聞き取れない。何を言っているのか解らない。特に町長の答えがわからない。

（議会から：音響設備【マイク集音】の一部に不具合が発見されましたので補充しました。大変ご迷惑をおかけしました。）

◎議会は町政運営の根幹を成すものであり、透明性の確保、プロセス公開によって、より町民の関心が高まることが期待できるものと思われれます。地方主権が取り沙汰されてきている今日にあって議会、委員会の一般公開は議会の資質の向上、町政充実に不可欠と考えられます。

（議会から：特別委員会を一般公開することとし、先の9月定例会、決算特別委員会を公開しました。今後は来年3月の予算特別委員会を公開する予定です。）



ご協力ありがとうございました。そして、貴重なご意見をいただき、感謝申し上げます。
 今後とも、町発展のためより一層努力したいと思いますのでご理解ご支援賜りますようお願い申し上げます。

議会質問コーナー

議会用語のあれこれ



Q1：委員会とは？

A：本会議での審議を効率的に行うため、少人数（全員で構成する場合もある）の議員で構成する組織を委員会といい、議案の審査、特定事件の調査などを行う議会の内部機関（総務、経済、民生の各常任委員会、議会運営委員会、予算、決算特別委員会、このへ議会だより編集委員会）のこと。

Q2：委員会付託とは？

A：本会議で議題となっている議案などについて、所管する委員会などへ詳しい審査や調査を委ねること。

Q3：一般質問と質疑の違いは？

A：一般質問は議員が本会議で広く町政に関し、報告や説明を求め、一般事務や将来に対する方針など町政全般について質問すること。一般質問は定例会で行われ、臨時会ではできない。（一般質問は議長や議員に対してすることはできない。）

（五戸町議会会議規則 第61条（一般質問）議員は、町の一般事務について、議長の許可を得て、質問することができる。）

質疑は町長に対し議案の内容や提案の理由などについて、疑問の点や不明の点を問うこと。なお、このとき自己の意見を述べることはできない。

第32回臨時会

平成23年10月12日臨時会が開かれました。

臨時会では、台風15号による被害対策に関する予算補正、平成23年度一般会計補正予算の議案を審議し、原案どおり可決しました。

災害対策は総額6922万9千円で主な内訳は農地・農業用施設災害調査設計業務委託料511万円、農業用施設災害復旧工事費3600万円、林道施設災害復旧工事費1200万円及び町道災害復旧工事費610万円など。
これらの財源は、負担金、県支出金、繰入金などを充てるものです。



編集後記

穏やかな新年を迎えたとはいきや3月11日の東日本大震災、台風12号・15号等自然界の強烈な力（パンチ）を思い知らされましたが、当町では大きな被害もなく、今、実りの秋を迎えていることに心を和ませています。

平成16年の町村合併から早7年、この度「このへ議会だより」を発刊することになりました。

編集委員一同、初めての経験ですが、町民の皆様方にご愛読いただきまして、少しでも議会、行政の活動にご理解を頂ければと思っております。

五戸町をこよなく愛する町民の皆様方、「このへ議会だより」に對しましてご意見等ありましたら、議会事務局までご一報くださいませ。

委員長 大沢 博

議会を傍聴しよう！

12月定例会は12月上旬開催予定です。詳しくは議会事務局まで

TEL 62-2111 (代表)

日程が決まりしだい「五戸ちゃんねる」、五戸町ホームページでもお知らせします。

次回の広報は平成24年5月に平成23年12月・平成24年3月定例会の記事を2・3号（合併号）として発行する予定です。

平成23年11月
このへ議会だより編集委員会

委員長	大沢 博
副委員長	高山 浩司
委員	根森 隆雄
委員	鈴木 繁盛
委員	尾形 裕之
委員	大沢 義之
委員	柏田 雅俊